

2016 年度国際コンファレンス「不平等とカタストロフィ」
Inequality and Catastrophe: Justice and Reciprocity

2017 年 1 月 14 日 (土)
立命館大学 衣笠キャンパス 創思館 403・404

主催：

立命館大学国際言語文化研究所重点研究プログラム「文化の移動と紛争的インターフェース」(カタストロフィと正義研究会)

共催：

科学研究費・基盤研究C「カタストロフィの分配的正義論」(代表者：井上彰)

立命館大学大学院先端総合学術研究科

参加：無料・申し込み不要

使用言語：英語(質疑応答時の通訳付き)

企画趣旨：

本企画では、立命館大学国際言語文化研究所重点研究プログラム「文化の移動と紛争的インターフェース」(代表者：米山裕)の一環として、カタストロフィ後に深刻化する不平等に代表される様々な倫理的問題について、分野横断的に議論する。

Program

11:00 - 11:15 Opening Address

11:15 - 12:15 Marco Bohr (Loughborough University, UK)
“Ethics, Morals and the Photographic Representation of 3.11”

12:15 - 13:30 break

13:30 - 14:30 Paul Dumouchel (Ritsumeikan University)
“Catastrophe: Equality and Reciprocity”

14:30 - 14:45 break

14:45 - 15:45 Gotoh Reiko (Hitotsubashi University)
“Social Choice as Public Reasoning: Individuality and Positionality”

15:45 - 16:00 break

16:00 - 17:00 Francesco di Iorio (Nankai University, China)
“Hayek as a Methodological Individualist”

17:00 - 17:15 Closing Address

18:00 - Reception
